

国語総合

1 目標

国語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊にし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したりするとともに、伝えあおうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

3 単位数・使用教科書

・5単位 1学年:3単位(105時間) 2学年:2単位(70時間)	・使用教科書 新編 国語総合 (大修館書店)
---	------------------------------

4 年間計画

1年次 (3単位)

月	単元名・教材	主な単元の目標	評価の観点					評価規準	主な評価方法
			関心 意欲 態度	話 す 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 理 解		
4	・国語の基礎・中学の復習	・表現と理解に役立てるための語彙・漢字・表記等を理解する。						・漢字や送り仮名の使い方、仮名遣いなどの基礎知識を理解しているか。 ・主な常用漢字について、その訓読を理解し、文脈に応じた適切な使い方ができるか。 ・国語の語句、語彙の構造的な仕組み、言語の個人的・社会的・文化的役割などについて理解しているか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
5	・伝え合うところ 『伝えたいと思うから』	・文章を正しく音読し、語句の意味を把握す ・人と人が言葉によって「伝え合う」ことの大事さを理解し、それが単なるスキルの問題ではないことがわかる。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・語句や表現を的確に読みとり、文脈を考えながら文章の要点を押さえているか。 ・筆者が述べようとしている内容を自分の経験や考えと照らし合わせ、深化させることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<1>									
6	・古文に親しむ 『沙石集』より 『ねずみの婿取り』	・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・古典作品が、遠い昔話ではなく現在の日本に残る文化・物の考え方などの基盤を作っているものだということを知る。 ・作品のテーマを考え、友達と意見交換をする。						・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いが理解できるか。 ・基本的な古語・慣用語の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができるか。 ・寓話を通して作者がうたえたかったことを理解し、自身の問題として捉えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	・広がる見方・考え方 『心が生まれた惑星』	・文章を正しく音読し、語句の意味を把握す ・論理的な文章を正確に読み取る。 ・科学的な話題の持つ面白さを知る。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理的な文章の構成を理解し、筆者の意見を読み取れるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
7	・図書館の使い方 <司書によるオリエンテーション>	・図書館を目的に応じて有効に利用する方法を身につける。						・NDC(日本十進分類法)のおおまかな構成やレファレンスサービスを理解し、用途に応じて利用できるか。 ・図書館でのマナーを身につけることができるか。	授業への取り組み
定期テスト<2>									
8	・敬語の使い方	・尊敬語と謙譲語の使い分けができるようにする。						・敬語の種類や性質を理解できるか。 ・立場や関係、目的や場面に応じた敬語を使うことができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
9	・漢文のとびら 『訓読の決まり』 『格言』『故事成語』	・訓読の決まりを理解し、書き下し文が書けるようにする。 ・格言や故事成語の意味を理解し、そこで得られる教訓が、現在の自分の生活にも当てはまるものだと感じ取ることができる。						・訓読や書き下し文の決まりを理解しているか。 ・内容を的確に読み取っているか。 ・述べられている教訓を理解し受け止め、そのおもしろさを味わえるか。	授業への取り組み
10	・読むことの楽しみ 『記念写真』	・文章を正しく音読し、物語に登場する人物やその心理、各場面の状況等を読み取る。 ・スピード感のある展開のおもしろさを味わい、読書の楽しみを知る。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・登場人物の人物像や心理、彼らを取り囲む状況等を把握できたか。 ・効果的な表現や意外性のある展開に触れ、短編小説を読む楽しさがわかるか。 ・虚構の世界を通して、自身を含めた人間への関心を深め、自己の生き方を考えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題

	<ul style="list-style-type: none"> ・論理をはぐくむ『日本人としての自覚が国際性を高める』 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章の構成を理解し、筆者の言う「真の国際性」の意味を把握する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読し、語句の意味を把握することができるか。 ・文脈や筆者の意見に忠実な読解をし、その主旨を読めるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<3>								
11	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆の楽しみ『徒然草』より「高名の木登り」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・高名の木登りの発言の主旨をき正確に理解し、筆者がそれに敬意を払っている理由がわかる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古語・慣用表現の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができる。 ・寓話を通して筆者がうったえたかったことを理解し、自身の問題として捉えることができるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
12	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌と俳諧の調べ『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』より 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典和歌に親しみをもてるようにする。 ・「万葉集」「古今集」「新古今集」それぞれの和歌を数首ずつ読み、韻律や内容を理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・古典和歌を繰り返し音読することで、そのリズムを楽しみ、味わえたか。 ・「万葉集」「古今集」「新古今集」それぞれの成立状況や歌風の違いを理解できるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合うところ『さびしんぼうだった青春時代』 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読し、語句の意味を把握する。 ・筆者の意図を正確に読み取り、その本意を汲み取る。 					<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現を的確に読みとり、文脈を考えながら文章の要点を押さえているか。 ・伝え合うことの根底になる「信頼関係」の重要性を理解したか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<4>								
1	<ul style="list-style-type: none"> ・読みを深める『羅生門』 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読し、表現に則して語彙力と読解能力を高め、想像力を養う。 ・作品中で描かれる作者の世界観・人生観に触れ、各自が自分の中にそれらを形成する契機とする。 					<ul style="list-style-type: none"> ・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・そこに描かれた情景、登場人物の心理や人物像を、表現に即して読み味わうことができるか。 ・すぐれた描写、効果的な表現を読み、短編小説を読む楽しさを味わえるか。 ・虚構の世界を通して、自身を含めた人間への関心を深め、自己の生き方を考えることができるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
2	<ul style="list-style-type: none"> ・詩歌との出会い『十五歳』『生ひ立ちの歌』『はる』『あどけない話』『旅上』『旅のころ』『遠くへ行きたい』 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の多彩な表現に触れ、それを楽しみ、味わう。 					<ul style="list-style-type: none"> ・読みや発音に留意し、正しく朗読できるか。 ・詩の中に込められた、固有の表現を理解できるか。 ・詩特有の技法を理解し、情景や心情などを表現に即して読み味わうことができるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
3	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆の楽しみ『枕草子』より「はしたなきもの」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・筆者の美意識を理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古語・慣用表現の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができるか。 ・筆者がどんなことを「はしたなきもの（=きまりが悪いもの）」と思っているかを理解し、それが現在の生活にもあてはまることに気がつき、古の人々と自分たちが地続きであることを理解できるか。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	<ul style="list-style-type: none"> ・国語常識手紙・封筒・葉書の書き方、十二支・月の異名など 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の常識を理解し、日常生活に生かす。 					<ul style="list-style-type: none"> ・手紙や葉書などの書き方を理解し、マナーを身につけたか。 ・方位・時刻・干支などの日本文化の常識を把握し、それらの文化が現代の日々の暮らしに生きていることを自覚し、それらのおもしろさに積極的に触れる。 	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<5>								

2年次 (2単位)

月	単元名・教材	主な単元の目標	評価の観点			評価規準	主な評価方法
			関心意欲態度	話す聞く能力	書く読む能力		
4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字に親しむ『漢字の性格』 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を確認しながら本文を正確に読む。 ・文字に興味を持ち、日本語の文字の使われ方の特殊性に気づく。 ・漢字への興味関心を喚起する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・文章の要点を押さえながら、全体のあらすじを理解しているか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、正しく理解しているか。 ・日本語の文字の特殊性に気づき、作者の考えをまとめることができるか。 	授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト
	<ul style="list-style-type: none"> ・古文に親しむ『宇治拾遺物語』より「ちこのそら寝」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を正確に音読する。 ・文語のきまりを理解する。 ・人物の心情を表現に即して読み味わう。 				<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して正しい音読ができるか。 ・古語辞典を正しく引くことができるか。 ・古文単語を正しく理解しているか。 ・省略された助詞や体言などを補いながら、口語訳ができるか。 ・登場人物の心情を読みとりながら、話の面白さを理解しているか。 	授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト
	『古典冒頭選』	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な古典の冒頭に触れ、日本人としての共通な教養を見見つける。 ・古文のリズムに注意し、正確にはっきりと朗読する。 ・朗読、暗唱を通して、古文に興味を持つ。 				<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して正しい音読ができるか。 ・代表的な古文の冒頭を暗唱できるか。 	授業への取り組み 定期テスト 暗唱テスト
定期テスト 1							

6	<p>・読むことの楽しみ 『俺はその夜多くのことを学んだ』</p>	<p>・登場人物の心情に注意して読み味わう。 ・現代小説の面白さを読み味わい、これをきっかけに他の作品に興味や関心を持つ。 ・コメディ作家としての作者の表現の面白さを味わう。</p>					<p>・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・登場人物の心の変化を読み取りながらあら筋を理解しているか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、正しく理解しているか。 ・作品の面白さを理解しているか。 ・登場人物の心情に共感し、感想を書くことができるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 感想文 定期テスト</p>
	<p>・読書の輪を広げよう 本の紹介文を書く</p>	<p>・本の紹介文を書き、その本の内容や魅力を友達に伝える。 ・友達の記事を読み、本に興味・関心を持つ。</p>					<p>・自分の紹介したい本の内容が的確に書かれているか。 ・紹介したい理由が明確に書かれているか。 ・紹介文に工夫が凝らされているか。</p>	<p>授業への取り組み 紹介文</p>
7	<p>・唐詩のしらべ 『自然のうた』『春暁』 『友情のうた』 『黄鶴楼送孟浩然之広陵』 『憂愁のうた』『春望』</p>	<p>・唐詩の名作に触れ、それぞれの作品に表れている心情、主題について理解する。 ・繰り返し音読することにより、漢文のリズムをつかむ。 ・漢詩(絶句・律詩)の形式について基礎的な知識を理解する。 ・著名な唐の詩人について調べる。</p>					<p>・漢文を正しく訓読できるか。 ・漢詩(絶句・律詩)の形式について理解しているか。 ・漢詩を正確に暗唱できるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 暗唱テスト</p>
	<p>・国語常識 『四字熟語』 『故事成語』 『高校漢字必携』</p>	<p>・国語の常識事項を身につける。</p>					<p>・四字熟語・故事成語を正しく読み、漢字で正確に書くことができるか。 ・四字熟語・故事成語の意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト</p>
定期テスト 2								
8	<p>・広がる見方・考え方 『日本の渚』</p>	<p>・文章の筋道を意識し、その流れに従って読みながら、論理的な文章の特色を理解する。 ・論理的な文章の構成に注意しながら、筆者の意見を読み取る。 ・筆者の意見をふまえながら、自分の意見をまとめる。</p>					<p>・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・文章構成に従って要旨をまとめることができるか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、その意味を理解しているか。 ・筆者の意見に対して、自分の考えを書くことができるか。 ・漢字を正確に書くことができるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 意見文 定期テスト 漢字小テスト</p>
9	<p>・物語の世界 『伊勢物語』より 『芥川』</p>	<p>・現代の高校生にとって関心の深い男女の愛情についての内容に触れながら、古文に親しむ。 ・文脈をたどりながらあら筋を的確に読み取る。 ・登場人物の心情を和歌を手がかりにして読み取る。</p>					<p>・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・『伊勢物語』についての基礎知識を理解しているか。 ・和歌の意味と文中での働きを理解しているか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト</p>
10	<p>・孔子のこぼれ 『学問のすすめ』 『いかに生きるか』</p>	<p>・孔子の学問に対する考え方を知り、学問の在り方について考える。 ・孔子の考え方が現代の思想にどのように関わっているか考える。 ・孔子の考え方を理解し、自分の生き方や考え方を見直す。</p>					<p>・漢文の訓読法に従ってそれぞれの文章を読み、内容を理解しているか。 ・正しく音読ができるか。 ・漢文の訓読法に従って、書き下し文にできるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 書き下し文テスト</p>
定期テスト 3								
11	<p>・論理をはぐくむ 『マンガ一線から絵が生まれるとき』</p>	<p>・論理的な文章を展開に従って分析していき、結論としての主張を導き出す。 ・評論に多く使われる概念語の意味や用法に注意し、自分でも使えるように修得する。 ・高校生にとって身近なマンガを、違った視点から考えることの面白さを学ぶ。 ・他人の意見や発想を受け止め、それに対する自分の意見をまとめ、主張する。</p>					<p>・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理をたどりながら、文章の構成を組み立てることができるか。 ・筆者の結論に対して、自分の意見を述べることができるか。 ・概念語を辞書で引くことができ、その意味や用法を理解しているか。 ・漢字を正しく書くことができるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 意見文 定期テスト 漢字小テスト</p>
	<p>・和歌と俳諧の調べ 『奥の細道』より 『旅立ち』</p>	<p>・音読を通して俳文のリズミカルな文体を読み味わう。 ・句と文とが切り離すことができない俳文の特徴を理解し、発句を丁寧に読解する。 ・芭蕉の旅に対する思いや行動を分析しながら、芭蕉の芸術と人生観を理解する。</p>					<p>・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・発句の内容とその働きを理解しているか。 ・芭蕉についての基礎的な知識を理解しているか。 ・芭蕉の人生観について理解しているか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 音読テスト 定期テスト 単語小テスト</p>
12	<p>・国語常識 『反意語・同意語』 『ことわざ』 『高校漢字必携』</p>	<p>・国語の常識事項を身につける。</p>					<p>・反意語・同意語を正しく理解し、正確に漢字で書くことができるか。 ・ことわざの意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト</p>
定期テスト 4								
1	<p>・論理をはぐくむ 『水の東西』</p>	<p>・論理的な文章を展開に従って分析していき、結論としての主張を導き出す。 ・具体的な例から抽象的な見解へと進む論の運びを学びながら、要旨をまとめる。 ・身の回りの物事に興味を持ち、深く考える習慣を身に付ける。 ・論の運び方に注意しながら、小論文を書く。</p>					<p>・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理をたどりながら、要旨をまとめることができるか。 ・難解な語句を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・具体的な例を挙げて、抽象的な結論へと導く小論文が書くことができるか。 ・漢字を正しく書くことができるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 小論文 定期テスト 漢字小テスト</p>
2	<p>・物語の世界 『平家物語』より 『木曾の最期』</p>	<p>・活き活きとした合戦の場面を読むことで、古文の物語の面白さを実感する。 ・リズム感のある語り調子の文体を読み味わう。 ・登場人物の心の動きを追いながら、それぞれの人間性を読み取る。</p>					<p>・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・場面ごとに人物の行動と心情を整理することができるか。 ・『平家物語』についての基礎的な知識を理解しているか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト</p>
3	<p>・国語常識 『慣用句』 『高校漢字必携』 『就職用漢字の読み書き』</p>	<p>・国語の常識事項を身につける。</p>					<p>・慣用句の意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。 ・就職用漢字の読み書きが正確にできるか。</p>	<p>授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト</p>
定期テスト 5								

世界史 A

山梨県立谷村工業高等学校地理歴史科

1 教科目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連させながら、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 評価の観点及び趣旨

意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての自覚を深める	世界の歴史から課題を見だし、世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を公正に判断できる力を養う	世界の歴史に関する様々な資料・史料から有用な情報を選択して活用できる技能を身に付けるとともに、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現する力を養う	世界の歴史についての基礎・基本的な事柄を、日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている

3 年間指導計画

月	単元	学習内容
4	東アジア世界	東アジアの風土と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国家体制に触れ、日本を含む東アジア世界の特質を把握する
	南アジア世界	南アジアの風土と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響に触れ、南アジア世界の特質を把握する
5	イスラーム世界	西アジアの風土と諸民族、イラン文明の伝統、イスラームの成立と拡大に触れ、イスラーム世界の特質を把握する
6	ヨーロッパ世界	ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教に触れ、ヨーロッパ世界の特質を把握する
	海域世界の成長とユーラシア	ムスリム商人のインド洋進出、中国商人の南シナ海進出を中心に、ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長を把握する
7	遊牧社会の膨張とユーラシア	内陸アジアの騎馬遊牧民、オアシス都市民の活動を中心に、陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化を把握する
9	地中海域とユーラシア	イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入を中心に、ユーラシア、アフリカとつながる地中海交流圏の成長を把握する
	東アジア海域とユーラシア	元の大都を拠点とする東西交流と黄海や東シナ海における交易の活発化、倭寇、勘合貿易、琉球王国の交易活動を中心に、日本列島を含む東アジア海域の交流圏としての成長を把握する
10	大航海時代の世界	大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解する
11	アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制	アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開を扱い、17世紀及び18世紀の世界の特質を理解する
	ヨーロッパ・アメリカの諸革命	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する

12	アジア諸国の変貌と日本	ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する
	急変する人類社会	輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握する
1	二つの世界戦争と平和	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する
	米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題について考察する
2	地球社会への歩みと日本	1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向などについて考察する
3	地域紛争と国際社会	冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追及し、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察する

4 項目ごとの評価規準

大項目	項目	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
諸地域世界の特質と交流圏	東アジア世界	東アジア世界の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	東アジア世界の特質について考察し、その歴史的意義を判断している	東アジア世界の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	日本を含む東アジア世界の特質を構造的視野から把握し、基本的な知識を身に付けている
	南アジア世界	南アジア世界の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	南アジア世界の特質について考察し、その歴史的意義を判断している	南アジア世界の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	南アジア世界の特質を構造的視野から把握し、基本的な知識を身に付けている
	イスラーム世界	イスラーム世界の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	イスラーム世界の特質について考察し、その歴史的意義を判断している	イスラーム世界の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	イスラーム世界の特質を構造的視野から把握し、基本的な知識を身に付けている
	ヨーロッパ世界	ヨーロッパ世界の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	ヨーロッパ世界の特質について考察し、その歴史的意義を判断している	ヨーロッパ世界の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	ヨーロッパ世界の特質を構造的視野から把握し、基本的な知識を身に付けている
	海地域世界の成長とユーラシア	ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする	ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長について考察し、その歴史的意義を判断する	ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長について把握し、基本的な知識を身に付けている
	遊牧社会の膨張とユーラシア	陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする	陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化について考察し、その歴史的意義を判断する	陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	陸のネットワークの成長とモンゴルによるユーラシアの一体化について把握し、基本的な知識を身に付けている
	地中海地域とシリア	ユーラシア・アフリカとつながる地中海交流圏の成長に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする	ユーラシア・アフリカとつながる地中海交流圏の成長について考察し、その歴史的意義を判断する	ユーラシア・アフリカとつながる地中海交流圏の成長に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	ユーラシア・アフリカとつながる地中海交流圏の成長について把握し、基本的な知識を身に付けている
	ユーラシア海域と	日本列島を含む東アジア海域の交流圏に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする	日本列島を含む東アジア海域の交流圏について考察しその歴史的意義を判断する	日本列島を含む東アジア海域の交流圏に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	日本列島を含む東アジア海域の交流圏について把握し基本的な知識を身に付けている

一体化する世界	大航海時代の 世界	16世紀の世界の一体化への動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	16世紀の世界の一体化への動きについて考察し、その歴史的意義を判断している	16世紀の世界の一体化への動きに関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	16世紀の世界の一体化への動きについて理解し、その知識を身に付けている
	アジアの諸帝国と家臣制	17世紀及び18世紀の世界の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	17世紀及び18世紀の世界の特質について考察し、その歴史的意義を判断している	17世紀及び18世紀の世界の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	17世紀及び18世紀の世界の特質について理解し、その知識を身に付けている
	ヨーロッパ・アメリカ	ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成について考察し、その歴史的意義を判断している	ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成について理解し、その知識を身に付けている
	アジア諸国の 変貌と日本	19世紀の世界の一体化とその特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている	19世紀の世界の一体化とその特質について考察し、その歴史的意義を判断している	19世紀の世界の一体化とその特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	19世紀の世界の一体化とその特質について理解し、その知識を身に付けている
現代世界と日本	社会急変する人類	20世紀という時代の特質に対する関心を高め、人類史的視野から意欲的に追究しようとしている	20世紀という時代の特質を人類史的視野から考察し、その歴史的意義を判断している	20世紀という時代の特質に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握し、基本的知識を身に付けている
	二つの世界戦争と平和	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や性格、影響や平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての自覚を深める	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や性格、影響や平和の意義などについて考察し、公正に判断している	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や性格、影響や平和の意義などに関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や性格、影響や平和の意義について理解し、その知識を身に付けている
	米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立・アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての自覚を深める	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立・アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察し公正に判断している	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立・アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などに関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立・アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器やアジア・アフリカ諸国が抱える問題について理解し、その知識を身に付けている
	地球社会への歩みと日本	1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現、日本が世界の諸国や諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての自覚を深める	1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現、日本が世界の諸国や諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考察し、公正に判断している	1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現、日本が世界の諸国や諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に関する資料を活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している	1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現、日本が世界の諸国や諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身に付けている
	地域紛争と国際社会	冷戦終結後の地域紛争の原因や歴史的背景を追究し、国際社会の変化や国民国家の課題などに対する関心を高めるとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての自覚を深める	冷戦終結後の地域紛争の中から事例を選び、国際社会の変化や国民国家の課題などについて多面的・多角的に考察し、公正に判断している	冷戦終結後の地域紛争の原因や歴史的背景、国際社会の変化や国民国家の課題などに関する資料を収集し、選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果を報告書にまとめたり、発表や討議できる力を身に付けている	冷戦終結後の地域紛争の原因や歴史的背景、国際社会の変化や現代国家の課題について理解し、その知識を身に付けている

5 項目ごとの評価方法

大項目	項目	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
諸地域世界の特質と交流圏	東アジア世界	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	南アジア世界	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	イスラーム世界	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	ヨーロッパ世界	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	地域世界の成長と コイラシア	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	遊教社会の影響と コイラシア	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	地中海域と コイラシア	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	東アジア海域 とコイラシア	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
一体化する世界	大航海時代 の世界	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	アジアの諸帝国と 国家ロバ	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	ヨーロッパの諸帝国と アメリカ	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	アジア諸国の 変貌と日本	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験

現代世界と日本	急変する人	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	二つの世界 争と平和	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	ア・米ソ ア・冷戦とアジ ア・フリカ諸国	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	地球社会への 歩みと日本	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験
	地域紛争と 国際社会	出席状況 学習態度(発言・調べ) 学習プリント	学習態度(発言・判断) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言・作業) 学習プリント 定期試験	学習態度(発言) 学習態度(発言) 定期試験

数学 評価規準

第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨

1 教科目標

数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を養うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

第2 各科目の評価基準

1 目標

式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

3 内容のまとめりごとの評価規準（おおむね満足できると判断されるもの）

(1) 式と証明			
式と証明			
目標 等式や不等式を証明することの意味や方法について学ぶことにより、数学的な見方や論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
多項式の除法、分数式、恒等式、等式と不等式の証明に関心をもつとともに、それらを問題解決に活用しようとする。	多項式や分数式の計算や恒等式の考え方を通してしき変形の基礎を明確に理解し、等式や不等式の証明を通じて数学的に考察し論証ができる。	多項式の除法や分数式の計算を用いて数式を同値変形し、等式や不等式の証明を的確に処理できる。	多項式や分数式、実数の基本的な扱いができ、数学的な証明の方法や意味を理解している。

(ア) 多項式の割り算

多項式の割り算についての理解を深め、具体的な事象の考察に活用することができるようにする。

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
多項式の割り算	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の割り算に関心をもち、商と余りを求めようとする。 割られる式、割る式、商、余りの間に成り立つ関係を理解し、具体的な事象について活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の割り算について数学的に考察することができる。 割られる式、割る式、商、余りの関係を多面的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多項式を整理して多項式どうしの割り算を解くことができる。 具体的な事象について割られる式、割る式、商、余りの関係を等式に表すことができ、またそれを利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の性質を理解し、演算ができる。 式と計算において同類項をまとめ降べきの順に整理できる。 割られる数、割る数、商、余りの基礎的な知識を身に付けている。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(イ) 分数式とその計算 分数式についての理解を深め、具体的な事象の考察に活用することができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
分数式とその計算	<ul style="list-style-type: none"> 分数式に関心を持ち、既約分数式に整理しようとする。 分数式の四則演算を解こうとし、具体的な事象について分数式を活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数式の性質を数学的に考察することができる。 分数式の算法を利用して、具体的な式の計算を多面的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数式の性質を基にして、既約分数式で表せる。 分数式の四則計算を理解し必要に応じて約分、通分を行い、解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式と計算、分数、通分、約分について理解している。 文字を含む式の四則計算を理解している。 指数法則、分配法則、乗法公式、因数分解を理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(ウ) 恒等式 恒等式と方程式の違いを理解し、恒等式になるように係数の決定ができる。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
恒等式	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式の定義と方程式の定義の違いについて関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式と方程式の区別がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等式の中から恒等式を選ぶことができる。 恒等式になるように係数を定めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式の性質を理解している。 恒等式の性質を利用するための式変形ができる。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 等式・不等式の証明 目標 等式、不等式の基本性質などを用いて式の証明を扱い、代数的な教材を基にして論証についての理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的な証明とはどのように行うかに興味を持ち、自分で論証をしようとする。	条件式や実数の性質を利用して、同値性を保ったまま数学的に考察して証明できる。	実数の大小関係の性質などを用いて、等式や不等式の証明を的確な方法で処理できる。	実数の性質を理解し、数学的な証明の意味を認識している。	

(ア) 等式の証明 数学の基礎としての証明を理解し、等式の基本となる3つの方針を用いながら論証の仕方を学び理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な証明がどのようなものか理解し、自分で論証をしようとする。 証明の3つの方針の違いとそれぞれの良さを理解し、具体的な証明を行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 数を複素数まで拡張した過程を考察することができる。 条件式から1文字消去するのか、多項式を置き換えるのか適切に処理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の形をみながら証明の方針を切り替えられる。 条件式を証明に組み込んで処理できる。 文字式の同値変形ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等式の同値変形と等式の証明の違いを理解している。 条件式によって、1文字消去できることを理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(イ) 不等式の証明 実数の大小関係に関する基本性質などを明らかにし、不等式の証明方法を理解する。さらに、不等式の証明を通して、数学の論証についての理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> 実数の大小関係や不等式の基本性質について関心を持つ。 不等式の証明に関心を持ち、実数の大小関係や不等式の基本性質を用いて不等式の証明に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 不等式 $A > B$ が成り立つことを示すには、$A - B > 0$ を示せばよいことが理解できる。 根号や絶対値を含む不等式では、各正数の2乗の大小を比較 	<ul style="list-style-type: none"> 左辺と右辺の差をとることにより、不等式の証明ができる。 実数の平方の和は常に0以上になることを利用して、不等式の証明ができる。 正の数は2乗 	<ul style="list-style-type: none"> 実数の順序関係や大小関係の基本性質が理解できている。 実数の大小関係と差の関係が理解できている。 実数の平方と平方の和の符号の関係が理解

	<p>することが有効であることが理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 相加平均・相乗平均の大小関係が理解できる。 ➢ 等号が成り立つ不等式において、どのような場合に等号が成り立つか考察できる。 	<p>しても大小関係が変わらないことを利用して、根号や絶対値を含む不等式の証明ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 相加平均・相乗平均の大小関係を利用して不等式の証明ができる。 	<p>できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 正の数の大小と平方の大小の関係が理解できている。 ➢ 相加平均と相乗平均の定義、および大小関係が理解できている。
<p>発言 観察 ノートチェック 自己評価</p>	<p>発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>ノートチェック ペーパーテスト 自己評価</p>

(2) 複素数と方程式

複素数と方程式			
<p>目標 数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の計算や2次方程式についての理解を深め、更に高次方程式を因数分解して解くことにより、高次方程式にもそれらを活用できるようにする。</p>			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
<p>数の拡張の意義に関心をもち、方程式と解についての知識を深め、それを活用しようとする。</p>	<p>数の拡張の過程や方程式と解の性質についての調べ方や応用の仕方が考察できる。</p>	<p>複素数の計算や、方程式の解法、解の性質や種類についての的確に処理できる。</p>	<p>複素数の四則演算や性質を理解し、また、方程式の解法や解についての知識を身に付けている。</p>

ア 複素数と方程式の解			
<p>2次方程式を解くことから複素数を考えることの意義を理解し、2次方程式が複素数の範囲で必ず解をもつことやその解と係数の関係について学び、2次方程式についての理解を深める。</p>			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
<p>(ア) 複素数とその計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 数を複素数まで拡張してきた考え方や過程に関心をもち、調べようとする。 ➢ 互いに共役な複素数の和と積は実数であることに関心をもち、それを活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 数を複素数まで拡張した過程を考察することができる。 ➢ 負の数の平方根の定義の妥当性とそれを利用して2次方程式の統一的に解けることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 複素数についての四則計算ができる。 ➢ 負の数の平方根についての計算ができる。 ➢ 負の数の平方根を利用して、簡単な2次方程式が解ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 複素数の相等についてその妥当性を理解している。 ➢ 複素数が四則演算に関して閉じていることを理解している。
<p>発言 ノートチェック 観察 自己評価</p>	<p>発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 観察</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 自己評価</p>
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
<p>(イ) 2次方程式の解</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 複素数の範囲では2次方程式は必ず解をもつことに関心をもち、それを活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 判別式の符号により実数係数の2次方程式の解の種類が判別できる過程が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 解が虚数となる2次方程式を解くことができる。 ➢ 判別式を用いて、実数係数の2次方程式の解の種類が判別できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 解の公式により2次方程式が統一的に解けることを理解している。 ➢ 判別式の符号により実数係数の2次方程式の解の種類が判別できることを理解している。
<p>発言 ノートチェック 観察 自己評価</p>	<p>発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 観察</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 自己評価</p>

(ウ) 解と係数の関係			
<p>2次方程式の解を直接求めなくても、解そのものの代わりに解と係数の関係を用いることにより、解に関するいろいろな問題が処理できることを体得させる。</p>			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
<p>解と係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2次方程式の解に関する問題を、解を求めることなく解くことができる場合があることに関心をもち、それを活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 2解が複雑な形をしていても、その和と積は係数を用いて簡単な分数で表現される。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 2次方程式の係数から2解の和と積が計算できる。 ➢ 逆に与えられ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 解と係数の関係は2解が虚数の場合も成り立つことを理解している。

<p>の 関係</p> <p>を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の処理に積極的に解と係数の関係を利用しようとする。 高次の対称式を基本対称式で表すことの良さを認識し、積極的に式を変形しようとする。 (発展)2次方程式の解とグラフや軸の関係、さらに2次式の因数分解への利用などより深い内容についても興味を持つ。 	<p>ことを理解し、活用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解と係数の関係を式を双方向から見て、式の値の計算や、2次方程式の係数の決定などの問題に応じて使うことができる。 2次方程式の解の符号と、グラフと軸の関係についても発展的に考察することができる。 (発展)解の公式が2次式の因数分解に利用できることを理解できる。 	<p>た2数から、その2数を解に持つ2次方程式を作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高次の対称式を基本対称式を用いて表現できる。 2次方程式の解に対する条件を用いて数式として表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 係数が実数の場合には、2解が虚数ならばそれらは共役複素数であることを理解している。 2次方程式の判別式の符号に関する条件が問題に明記されていなくても、必要に応じて追加できる。 (発展)係数が実数の2次式は複素数の範囲で常に因数分解可能であることを納得している。
<p>発言 ノートチェック 観察 自己評価</p>	<p>発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 観察</p>	<p>ペーパーテスト ノートチェック 自己評価</p>

<p>イ 高次方程式</p>			
<p>目標 剰余の定理や因数定理を利用することの意義を理解し、的確に利用するとともに、高次方程式についての理解を深め、解を求められるようにする。</p>			
<p>関心・意欲・態度</p> <p>剰余の定理、因数定理に関心をもつとともに、それらを高次方程式の解を求めるために活用しようとする。</p>	<p>数学的な見方や考え方</p> <p>剰余の定理、因数定理を整式のわり算、高次方程式の因数分解などに活用し、数学的に考察することができる。</p>	<p>表現・処理</p> <p>剰余の定理を利用して整式を割った余りを求めることができる。因数定理を利用しての因数分解ができ、高次方程式を解くことができる。</p>	<p>知識・理解</p> <p>高次方程式を解くために因数分解を行うことを理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>

<p>イ 剰余の定理と因数定理</p>			
<p>剰余の定理・因数定理について理解し、的確に利用することができる</p>			
<p>(ア) 剰余の定理を因数定理</p> <p>関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 剰余の定理によって簡単に余りが求められる考え方や過程に関心を持ち、具体的に使ってみる。 因数定理によって整式の因数を求めることに関心を持ち、因数分解を試みる。 <p>発言 ノートチェック 観察 自己評価</p>	<p>数学的な見方や考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式における除法の原理を理解し、剰余の定理が考察できる。 因数定理から因数分解へと定理を利用することの利点を確認する。 文字が含まれる場合も、因数定理に則って計算できることを考察する。 <p>発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト</p>	<p>表現・処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号$P(x)$が利用できる。 剰余の定理を利用して整式の割り算の余りを求めることができる。 因数定理を利用して因数分解ができる。 <p>ペーパーテスト ノートチェック 観察</p>	<p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 整式における除法の原理を理解し、剰余の定理が成り立つことを知る。 剰余の定理を利用して簡単に余りを求められることを知る。 因数定理によって因数を見つけられることを理解する。 <p>ペーパーテスト ノートチェック 自己評価</p>
<p>(イ) 高次方程式を解くことに 関心を持ち、実際に解いてみる。</p> <p>高次方程式についても因数定理を利用して解くことを試みる。</p>	<p>数学的な見方や考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> などと置き換え(単純化)することの有効さを考察する。 因数定理を利用して因数分解することによって、高次方程式の解が求められることを考察する。 	<p>表現・処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 「n次方程式」「高次方程式」「3乗根」などの用語を適切に使うことができる。 3次方程式を因数分解して解を求めることができる。 	<p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 高次方程式も2次方程式と同様に因数分解することで解を求めることができることを理解する。 用語「2重解」、「3重解」を理解し、利用できる。 次方程式は複素数の範囲で常に個の解を持つことを知る。

発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------	----------------------------

(3) 図形と方程式			
目標 座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係に関心をもつとともに、それらを問題の解決に活用しようとする。	座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察することができる。	平面図形を座標や式を用いて表現し、直線や円などの基本性質を有用に活用し処理したりすることができる。	点と直線、円について理解し、基礎的な知識を身に付けている。

ア 点と直線 数直線概念を理解し、2点間の距離や線分の分点の座標を求めることができるようにする。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 直線上の点 <ul style="list-style-type: none"> 数直線上の点と座標が対応し、実数を用いて表されることによって様々な考察が可能になることに興味をもつ。 数直線上の2点間の距離、線分の分点の座標を求めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 中点の座標が、$m:n$に内分する点の座標を$m=1, n=1$の場合として得られることに気づく。 線分を$m:n$に外分する点の座標は、$m:-n$に内分する場合と考えることができることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値の概念を理解し、2点間の距離を求めることができる。 線分の分点の座標を公式を用いて求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 座標の大小関係が分かっているときは、数直線上の2点間の距離を絶対値を用いなくてもめられることを理解する。 内分点の座標を求める公式をもとにし、外分点や中点の座標も求められることを理解する。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 平面上の点 <ul style="list-style-type: none"> 平面上の点を、座標を用いて表すことの有用性を実感し、今まで以上に様々な考察が可能になることに興味をもつ。 対称移動によってどの様に座標が変化するか、視覚的に考察しようとする。 2点間の距離、線分の分点の座標を求めようとする。 幾何の証明問題に関心をもち、証明しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の座標が点を軸へ正射影することにより、直線上の点の座標から構成されていることに気づく。 平面上の2点間の距離は、三平方の定理を用いて求めることができることに気づく。 平面上の2点間を結ぶ線分の分点の座標も、数直線の場合と同じように求められることに気づく。 幾何の証明問題において、座標軸の設定の有用性に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点を座標を用いて表し、対称移動によって変化した座標を求めることができる。 2点間の距離、線分の分点の座標を、公式を用いて求めることができる。 幾何の問題において、座標軸をとり点を座標で表すことによって、証明できる。 三角形の重心の座標を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面を座標軸を用いて4つの部分に分けることができるが、座標軸はどの象限にも含まれないことを理解する。 2点間の距離の公式から、実数の2乗の正の平方根と絶対値の関係を確認し、理解できる。 幾何の証明問題では座標軸の決め方が大切であることを理解し、的確に座標軸をおくことができる。 証明したことがらを考察し、定理として理解できる。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

直線の方程式 点と傾きとの関係から直線の方程式が導かれることを理解し、平面図形の性質や関係を考察する際に必要になる直線の方程式を作れるようにする。
--

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ウ) 直線の方程式 点	<ul style="list-style-type: none"> 点と傾きとの関係から直線の方程式が導かれる過程に関心を持ち、直線の方程式がどのように決定するのか調べようとする。 直線が1次方程式で表されることに関心を持ち、図形を直線を用いて調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線の捉え方を点と傾きという見方から考察することができる。 関数として扱ってきた直線概念を、方程式として扱うことで代数的に座標を求める考え方が確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 点と傾きが与えられた場合と、2点が与えられた場合について、それぞれの直線の方程式が導ける。 直線を1次方程式として表現することができ、図形における考察を代数的に処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 点と傾き、及び2点を与えることによって直線の方程式が決定することを理解している。 直線が1次方程式で表されることを認識し、2直線の交点の座標が2元1次方程式の解で与えられることを理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(エ) 2直線の関係	<ul style="list-style-type: none"> 2直線の平行条件や垂直条件、更に点と直線との距離についてその関係を理解し活用しようとする。 直線だけでなく、直線と直線から得られる情報を利用して図形を分析しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 2直線が平行、垂直になるには条件が存在し、その過程が確認できる。 直線の方程式が点の座標を用いて代数的に処理され、座標を代入することで距離までが容易に求められることが確認できる。 図形関係を数式で表すことでその図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線の平行・垂直条件を活用し、新たな直線の方程式を求めることができる。 座標平面上の図形に直線の方程式を求める際に考察した概念を導入することで、座標や線分の長さ、図形の面積などを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2直線の平行条件と、垂直条件を理解している。 点と直線との距離は直線の方程式にその点の座標のみを代入することで得られることを理解している。 直線の平行条件や垂直条件を用いれば図形の構造が容易に掴めることを理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 円の方程式				
目標 円が方程式で表されることを理解し、円と直線の関係を方程式でとらえることにより、円と直線の関係について今までより深い考察を可能にする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
	中学までは図形としてしか扱わなかった円が方程式で表されることに関心を持ち、それらを問題の解決に活用しようとする。	与えられた条件から円の方程式を求め、また直線と円の関係について、考える。	今まで学んだ方程式の解法や、公式を使い、的確に数式を処理することができる。	円の方程式、円と直線の位置関係と判別式、円の接線の方程式について理解し、基礎的な知識を身に付けている。

(ア) 円の方程式				
円が方程式で表されることを理解し、円を方程式で表す。また与えられた円の方程式から中心、半径を求めることができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア)	<ul style="list-style-type: none"> 円が方程式で表されることについて関心をもつ。 2点間の距離の公式、中点の公式を使って問題を解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 円が中心と半径が与えられれば、1つに決まることに気付く。 2点を直径の両端とする円の中心と半径の出し方に気付く。 円の中心と半径の求め方が、2次関数の平方完成と同じ変形 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な中心と半径が与えられた円を円の方程式に代入して求めることができる。 2点を直径の両端とする円の方程式を求めることができる。 与えられた円の方程式から中心の座標 	<ul style="list-style-type: none"> 円の方程式を導く。 平方完成を使い、円の中心と半径を求める変形を理解する。 連立方程式を解くことにより、3点を通る円の方程式を求めることができることを理解する。

円の方程式		だとわかる。 > 3点を通る円の方程式のおき方に気付く。	と半径を求めることができる。 > 3点を通る円の方程式を求めることができる。
	発言 ノートチェック 観察	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察

(イ) 円と直線 円と直線の位置関係について、共有点の求め方、判別式、円の接線の方程式について学び、理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 円と直線	> 円と直線の関係に関心を持ち、どのような場合があるのか考えてみる。 > 円と直線の関係を方程式でとらえることにより、今まで以上に具体的な考察が可能になることを実感する。	> 円と直線の共有点の求め方について考える。 > 円と直線の位置関係のとらえ方が、判別式と、円の中心と直線の距離の2通りでとえられることを理解する。 > 円の中心と接点を結んだ直線は接線に垂直であることに気づき、接線の公式を使わずに原点を中心とする円の接線の方程式を求めることができる。	> 与えられた円と直線の共有点を求めることができる。 > 点と直線との距離の公式を使い問題を解くことにより、円と直線が接する場合の理解を深める。 > 原点を中心とする円上の点における接線の方程式を求める。 > 円外の点から原点を中心とする円に引いた接線の方程式と接点の座標を求めることができる。	> 円と直線の位置関係は判別式の符号で決まることを理解する。 > 原点を中心とする円の接線が公式で表されることを理解する。 > 円外の点から原点を中心とする円に引いた接線の方程式の求め方を理解する。
	発言 ノートチェック 観察	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック

(ア) 軌跡と方程式 ある条件を満たす点の集合が図形を描くことに関心を持ち、軌跡についての知識を深め、それを活用しようとする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 軌跡と方程式	> ある条件を満たす点の集合が図形を描くことに関心を持ち、軌跡について調べようとする。	> 2点から等距離である点の集合がその2点を結ぶ垂直二等分線であることを予想できる。 > ある点Pから等距離である点の集合が、点Pを中心とした円であることを予想できる。	> 2点A、Bから等距離である点Pの軌跡を求めることができる。 > アポロニウスの円の軌跡についての計算ができる。 > 点Cから等距離である点Pの軌跡を求めることができる。	> 2点から等距離である点の集合がその2点を結ぶ垂直二等分線であることを理解できる。 > ある点Pから等距離である点の集合が、点Pを中心とした円であることを理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(イ) 不等式の領域 ある条件を満たす点の集合が領域を表すことに関心を持ち、領域についての知識を深め、それを活用しようとする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 不等式の領域	> ある条件を満たす点の集合が領域を表すことに関心を持ち、領域についての知識を深め、それを活用しようとする。	> 1次関数の不等式が直線の片側を満たす点全体であることが分かる。 > 円を境界線とする領域は、その円の方程式のイコールを不等号にしたものであることが分かる。	> 1次関数や2次関数の不等式の表す領域を求めることができる。 > 不等式の表す領域を図示して解決できる問題を解くことができる。	> 1次関数の不等式が直線の片側を満たす点全体であることが分かる。 > 連立不等式の表す領域は、それぞれの不等式を満たす領域の重なったところであることを理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> 連立不等式の表す領域は、それぞれの不等式を満たす領域の重なったところであることを分かる。 		
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(4) 三角関数			
目標 回転運動を考えると一般角の概念を導入し、座標平面上の点を基にして三角関数を定義しそれから導かれる基本的な諸性質を理解して方程式、不等式に活用できるようにする。			
関心・意欲・態度 三角関数の性質を具体的な事象の考察に活用しようとする。また、方程式、不等式の解についてグラフを利用することのよさを認識する。	数学的な見方や考え方 グラフから方程式や不等式の解を求める意味とそれらの解の差異を認識する。また、いろいろな関数の性質を用いて、具体的な事象へ応用することの有用性を認識する。	表現・処理 グラフをかくことができる。方程式や不等式などの式を三角関数の性質を使って目的に応じて変形し、解を求めることができる。	知識・理解 三角関数についての基本的な概念、法則、定理などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。また、グラフを通じて方程式や不等式に活用できる。

ア 三角関数			
一般角の三角比について理解し、三角関数のグラフをかくとともに周期性・対称性などを理解し、方程式・不等式を解くことができるようにする。			
関心・意欲・態度 (ア) 角の拡張 <ul style="list-style-type: none"> 一般角の表し方について感心をもつことができる。 度数法・弧度法の変換に慣れる。 発言 ノートチェック 観察 自己評価	数学的な見方や考え方 <ul style="list-style-type: none"> 角の大きさについて動径を使い動的な立場で考えることができる。 扇形の面積の求め方を考察することができる。 発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	表現・処理 <ul style="list-style-type: none"> 負の角・以上の角の動径を図示することができる。 度数法で表された角を弧度法で表すことができる。 扇形の半径や面積を求めることができる。 ペーパーテスト ノートチェック 観察	知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> 正の角・負の角の意味について理解している。 度数法と弧度法の関係を理解している。 弧の長さや扇形の面積の公式が理解できる。 ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
関心・意欲・態度 (イ) 三角関数とグラフ <ul style="list-style-type: none"> 三角関数のグラフに興味をもつことができる。 三角関数の対称性と周期性について理解しようとする。 発言 ノートチェック 観察 自己評価	数学的な見方や考え方 <ul style="list-style-type: none"> 一般角の三角比が鋭角・鈍角の三角比の拡張になっていることがわかる。 三角関数のグラフが周期関数であることについて考えることができる。 発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	表現・処理 <ul style="list-style-type: none"> 一般角の正弦・余弦・正接の値を求めることができる。 三角関数のグラフを描くことができる。 ペーパーテスト ノートチェック 観察	知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> 一般角の正弦・余弦・正接について理解できている。 、 であることが理解できている。 ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

関心・意欲・態度 (ウ) 三角関数の性質 <ul style="list-style-type: none"> 三角関数の相互関係について関心をもち2つの相互関係から新しい相互関係を導きだそうとする。 三角関数のグラフの周期性・対称性を理解しようとする。 発言 ノートチェック 観察 自己評価	数学的な見方や考え方 <ul style="list-style-type: none"> 三角関数のグラフの周期性・対称性を利用しようとする。 三角関数の定義に戻り相互関係やグラフの周期性・対称性を考察することができる。 発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	表現・処理 <ul style="list-style-type: none"> 1つの三角関数の値から残りの三角関数の値を求めることができる。 相互関係を利用して三角関数の式の変形ができる。 ペーパーテスト ノートチェック 観察	知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係を理解している。 三角関数の定義とグラフを理解している。 展開・因数分解の公式を理解している。 円と直線の方程式を理解している。 ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解

(エ) 三角関数についての方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の方程式・不等式に興味をもつ。 単位円や三角関数のグラフを積極的に書き方方程式・不等式を解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位円や関数の周期性を利用することができる。 三角関数のグラフと直線の位置関係を利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の相互関係を変形して利用することができる。 三角関数の式を因数分解し、方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次方程式・不等式と2次方程式・不等式を解くことができる。 三角関数のグラフを理解している。 三角関数の値の存在範囲を理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 加法定理 加法定理の意味とその使い方、および応用の広さを学ぶ。また、加法定理の逆として三角関数の合成について学ぶ。				
	関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> 図形の特徴に関心を持ち加法定理を導こうとする。 図形応用して加法定理を活用しようとする。 2倍角・半角の公式を導こうとする。 1つの三角関数(正弦)で表すことを用いていろいろな問題を解こうとする。 	数学的な見方や考え方 <ul style="list-style-type: none"> 図形の特徴を三角形に関する基本的知識を用いて、定理を導き出す過程を考察することができる。 加法定理を利用して2倍角・半角の公式を考察することができる。 加法定理の逆とし図形的な特徴から三角関数の合成を考察することができる。 	表現・処理 <ul style="list-style-type: none"> 加法定理を用いて正弦、余弦、正接を求めることができる。 2倍角・半角の公式を活用することができる。 の形に変形し、三角方程式、不等式を解くことができる。 	知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> 加法定理を理解している。 三角関数の相互関係を理解している。 特別な角の三角関数を理解している。 加法定理、三角関数の相互関係を理解している。 三角関数と座標の関係、三平方の定理、加法定理、三角関数のグラフを理解している。
加法定理	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(5) 指数関数と対数関数				
目標 指数関数及び対数関数について理解し、それらの関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解

ア 指数関数と対数関数 指数関数及び対数関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 指数の拡張	<ul style="list-style-type: none"> 以下の整数の場合の累乗について関心をもつ。 の定義から累乗根の性質を導き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 有理数を指数にもつ累乗についても指数法則が成り立つことが理解できる。 指数が有理数の場合はの時だけ考えればよいことが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則に基づいて、計算することができる。 累乗根の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則が一般の整数指数について成り立つことが理解できる。 指数の拡張に従って、の範囲が狭められることを理解する。

	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ のグラフについて、いろいろな変数に対応する関数値を求めることができる。 ➢ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 具体例、が軸に関して対称であることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 時のグラフの概形を描くことができる。 ➢ 指数関数の性質によって、指数の大小が判定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数方程式を解くことができる。 ➢ 指数不等式を解く際には、底が1より小さいとき大小が逆転することが理解できる。
指数関数	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

対数とその性質 指数法則に対応するものとして対数の性質を理解し、それを用いて対数の式をまとめることができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 対数とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対数の表し方について、関心をもつ。 ➢ 対数の性質を用いて対数の式をまとめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数表示と対数表示のように、同じものを異なる表し方、見方をする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 簡単な対数の値を求めることができる。 ➢ 対数の性質を用いて、対数の式を計算することができる。 ➢ 底の変換公式を用いて、対数を簡単にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数法則を確認し、対数の性質を理解している。 ➢ 底を変換し、底を同じにすることで対数が簡単になることを理解している。 ➢ 対数計算の特徴を理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

対数関数 指数から対数に発展したことで対数の意味を十分理解して、表現・処理することができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 対数とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対数の性質を理解して、各種の問いに関心をもち、調べていこうとする。 ➢ 底や真数の意味を理解して、対数を考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数の発展・延長として対数の性質を理解し、考察することができる。 ➢ 対数の性質や公式を数学的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数の考え方から対数の性質や公式を理解して簡単な計算ができる。 ➢ 底の公式を利用して基本的な計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数の基本的な性質を理解しながら、対数の性質や公式を理解している。 ➢ 底や真数条件の意味を理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対数に関心をもち、対数関数をグラフに表わそうとする。 ➢ 対数関数の性質を理解して、対数の大小関係に関心をもちながら比較しようとする。 ➢ 対数関数の性質から方程式、不等式を解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対数関数とそのグラフの関係を考察することができる。 ➢ 底の条件により、対数全体の大小を比較し考察することができる。 ➢ 真数条件を考えたが、対数方程式、不等式の解を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対数関数のグラフを底の条件を考えながら描くことができる。 ➢ 底の値により真数を比較しながら、対数の大小関係を比較できる。 ➢ 対数方程式、不等式を対数関数の性質を利用して解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指数・対数の性質を理解している。 ➢ 底や真数の条件を理解している。 ➢ 関数から数の大小を比較できることを理解している。 ➢ 対数方程式、不等式を解くとき、底や真数条件を理解し、活用することができる。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ウ) 常用対数	<ul style="list-style-type: none"> 常用対数の意味を理解しようとする。 10を底とする各種の問題に常用対数を活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 10を底とする常用対数の性質を数学的に考察することができる。 各種の応用問題を常用対数を用いて多面的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な常用対数の計算ができる。 指数や累乗根で表された数を日常使用している10進法を使った数で表すことができる。 各種の応用問題を常用対数の性質を使い解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の性質を理解している。 10進法の意味や性質を理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(6) 微分と積分				
目標 具体的な事象の考察を通して微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
	関数の値やグラフの変化の様子を、局所的な手法を用いて調べようとする。	関数の変化をグラフをもって考察するとき、点をプロットし概形をとらえる事以外に、接線の傾きにより変化をとらえようとする。	関数の増減を、接線の傾きから調べる。 不定積分、定積分と面積等の関係を表現できる。	関数が微分でき、関数値の0辺かを読みとれる。 定積分が実行でき、面積の計算ができる。

ア 微分係数と導関数				
関数の平均変化率の意味を考え、その極限として微分係数を理解し、導関数を定義する。また、グラフの接線の傾きと対比させ、変化率や微分の持つ意味を具体的にとらえる。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> 関数の平均変化率を求めようとする。 平均変化率は一定ではなく、Δxの変域により異なることに気づく。 極限值について考察する。 微分係数の図形的意味に関心をもつ。 導関数を定義に基づいて求めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> Δxの変域の幅を0に近づけるときの微分係数の変化について考察することができる。 微分係数の図形的意味を考察することができる。 定義を理解した上で導関数を求めることができ、更に導関数の公式について考察を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率が求められる。 微分係数を定義により求められる。 導関数を定義により求められる。 導関数の公式を用いて関数を微分できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率の図形的意味を理解している。 微分係数の図形的意味を理解している。 定義から微分係数や導関数を求められる。 導関数の公式を利用して微分することができる。
	発言 ノートチェック 観察	発言 観察 ノートチェック	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 導関数とその計算	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数の計算を定義に基づき行おうとする。 微分を表す様々な記号に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな値における微分係数を求め、1つひとつの決まり方から、関数となることを考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい記号のもとで、微分することが出来る。 変数が x 以外でも問題なく微分できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数・導関数の関係を理解している。

接線の方程式				
導関数を理解し、それを用いて、関数のグラフ上の点における接線、および、グラフ上にない点から引いた接線を求めることができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ウ) 過程に関心をもち、求め	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数を利用して接線の傾きが求められる 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数を利用して接線を求める過程を考察することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数を利用して接線の傾きを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 接線の傾きと導関数の関係が理解できる。 傾きと通る点により

接線の方程式	ようとする。 > 求めた傾きと与えられた点により、接線を求めようとする。 > 「グラフ上の点における接線」を拡張し、「グラフ上にない点から引いた接線」を求めようとする。	る。 > 「グラフ上の点における接線」を拡張し、「グラフ上にない点から引いた接線」を求める過程を考察することができる。	> 求めた傾きと与えられた点により、接線を求める。 > 「グラフ上にない点から引いた接線」を求める際に、接点の座標を置くことができる。また、他の条件とも合わせて最終的に接線の方程式を求めることができる。	接線を求めることができる。 > グラフ上の点であるかどうかにより、接線の求め方が異なることを理解している。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 関数の値の変化 関数の増減を調べ、極大・極小を求めることができるようにする。また、グラフを書けるようにする。 関数の増減やグラフを利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 関数の増減やグラフを利用して、方程式の解の実数解の個数や、不等式の証明などに応用できる。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 関数の増減と極大・極小	> 関数の増減に関心をもち、導関数の符号から関数の増減を調べようとする。 > 関数の増減を調べ、増減表を作ろうとする。 > 極値を求めようとする。 > グラフを書こうとする。	> 導関数の符号と関数の増減について数学的に考察することができる。 > 増減表を作ることが極値を求めることにつながることを考察することができる。また、さらにグラフを書くことへ拡張できる。	> 導関数の符号から関数の増減を調べることができる。 > 関数の増減を調べ、増減表を作ることができる。 > 極値を求めることができる。 > グラフを書くことができる。	> $x = a$ で極値を持つことと $f'(a) = 0$ との関係がわかる。 > 極大値・極小値の意味がわかり、求め方を理解している。 > 増減表を作ること、極値を求めること、グラフを書くこととの関係が理解できる。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 関数の増減とグラフの応用	> 関数の最大値・最小値について関心をもち、関数の増減に関心をもち、グラフなどを併用し、関数の最大値・最小値を求めようとする。 > 身の回りにありそうな問題に関心をもち、調べようとする。 > 不等式の証明に、グラフを使おうとする。	> 方程式の実数解の個数をグラフと、 x 軸との関係として考察することができる。 > 不等式の証明で、変形した式や、与えられた式の最小値などに注目することで、考察することができる。	> 具体的な関数で、増減を調べ、グラフを併用することで、最大値・最小値を求めることができる。 > 方程式の実数解の個数を、グラフとの関係から求めることができる。 > 与えられた不等式をある関数と見なし、最大最小などから証明できる。	> 極大、極小と最大、最小の違いが分かる。 > 最大値・最小値の意味がわかり、求め方を理解している。 > 増減表、極大極小、最大最小、グラフとの関係が理解できる。 > 方程式、不等式とグラフとの関係が理解できる。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

積分法 不定積分が、微分と逆の作業になることを理解した上で、定積分に活用できる基礎を作る。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 不定積分	> 原始関数の定義および求め方について関心をもち、積分定数の必要性を理解しようとする。 > 整式の不定積分を求めようとする。	> 積分定数を使い不定積分を求めることができる。 > を理解している。	> 1次式の不定積分を求めることができる。 > 不定積分を求めることができる。 > 関数の定数倍および和、差の不定積分を求めることができる。 > 初期値を利用して積分定数を求めることができる。	> 不定積分を求めるときに積分定数を利用できる。 > 原始関数と不定積分の違いが分かる。
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------	----------------------------

<p>定積分 定積分の定義を理解し、定積分の計算ができるようにする。 積分範囲に文字が入った場合の定積分が、その文字の関数となることを知り、その文字で微分できる。</p>				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ)定積分	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の定義に関心をもち、求めようとする。 定積分の計算をしようとする。 定積分の性質を積極的に使おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の性質を、定積分の定義に戻り、その性質を示す過程を考察することができる。 積分範囲に文字が入った場合の定積分の積分計算や、その関数を微分する過程を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の定義に従い定積分の値を求めることができる。 定積分は積分変数によらず求めることができる。 定積分の入った等式(積分方程式)から、関数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定積分が原始関数の選び方によらない定数となることが理解できる。 同じ関数ならば、定積分の値は積分変数によらないことが理解できる。 定積分の結果が、積分範囲の文字に従うことが理解できる。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

<p>図形の面積と定積分 定積分を用いて、図形の面積を求めることが出来ることを理解し、具体的な直線・放物線で囲まれた部分の面積を求めることが出来るようにする。</p>				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ウ)図形の面積と定積分	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の値と具体的な図形の面積が一致することに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> のとき、曲線、直線、軸で囲まれた部分の面積をとすると、であることがわかり、定積分が面積を表していることを導くことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線・放物線とy軸に平行な2直線で囲まれた部分の面積を求めることが出来る。 放物線とx軸で囲まれた部分の面積を求めることが出来る。 放物線と直線、2つの放物線で囲まれた部分の面積を求めることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> のとき、曲線、直線、軸で囲まれた面積Sとすると面積であることを理解する。 曲線、直線、軸で囲まれた面積Sとすると面積であることを理解する。 2曲線間の面積Sとすると、であることを理解する。
	発言 観察	発言 観察	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

理科総合 A

単位数	学 年	使用教科書（出版社）	担当者
3	2 学 年	理科総合 A（数研出版）	理科担当教員

教科・科目の目標

自然の事物・現象に関する観察、実験などを通じて、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然のかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価規準	物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、自然を総合的に科学的態度を身につける。	物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。	物質の成り立ちを中心とした観察・実験の技能を修得するとともに、それらの科学的に探求する方法を身につけ、観察・実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について観察・実験などを行い、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業参加の仕方や態度 宿題・課題 授業プリント 小テスト 実験レポート・発表	定期試験 実験レポート 宿題・課題 小テスト	実験レポート 定期試験 小テスト	授業参加の仕方や態度 定期試験 実験レポート 授業プリント 小テスト

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準		評価観点
4	自然の見方 探求の仕方	観察・実験の基本的な方法を習得させ、自然のエネルギーや物質の変化と変換などで科学的に考察させる。	関心・意欲 態度	自然の事象をエネルギーや物質の変化・変換でとらえ、意欲的に探求しようとする。 身近な事象の中から学習課題を取り上げ、科学的な手法でこれを解決することに関心を持ち、意欲的に探求しようとする。	
			思考・判断	自然の事象をエネルギーや物質の変化と変換という見方でとらえ、それらについて観察、実験を行い、その結果を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりする。 身近な自然の事象の中から具体的な学習課題を取り上げ、それらに関する観察、実験などを行い、その結果をグラフの活用などによって考察し、共通性や規則性を見つける。 観察、実験で得られた結果の信頼性や不確実性について検討し、判断する	

			技能・表現	<p>自然の事象をエネルギーや物質の変化と変換という見方でとらえ、それらを科学的に探求する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果を的確に記録・整理する。</p> <p>身近な自然の事象の中から具体的な学習課題を設定し、情報収集して実験計画を立てる。</p> <p>観察、実験で得られた結果について、数値の処理の仕方やグラフのかき方などを習得するとともに、観察、実験の過程や結果、および自ら導き出した考えを的確に記録する。</p>	
			知識・理解	<p>観察、実験などを行い、自然をエネルギーや物質の変化・変換でとらえると、自然界に規則性や法則性があることを理解し、知識を身に付けている。</p> <p>探求的な活動で、何がどこまで解明できるのかを認識するとともに、自然の認識にはなお多くの努力が必要であることを理解し、知識を身に付けている。</p>	
5	物質の構成と変化	物質を構成する成分及びその分離方法や検出方法について理解させる。	関心・意欲態度	<p>物質を構成する原子・分子・イオンとその結合に関心をもち、意欲的にそれらを探求しようとする。</p> <p>原子・分子・イオンの結び付きの変化で物質の性質が変わることに興味をもち、意欲的にそれらを探求しようとする。</p>	
7			思考・判断	<p>元素の周期表と対応させて原子の構造を推論できるとともに、原子・分子・イオンの違いを考察し、判断する。</p> <p>観察、実験の結果から、物質の性質を基本粒子の構成から考察する。</p>	
			技能・表現	<p>混合物の分離、成分元素の確認、イオンの存在を確認する観察・実験の技能を習得する。</p> <p>観察、実験の過程や得られた結果、およびそこから導き出した考えを報告書にまとめたり、発表したりする。</p>	
			知識・理解	<p>元素の周期表と対応させて原子の構造を平易に理解するとともに、原子の構造と関連させて分子、イオンの知識を身に付けている。</p>	
8			関心・意欲態度	<p>原子・分子・イオンの結び付きの変化で物質の性質が変わること、その際にエネルギーの出入りが伴うことに興味をもち、意欲的にそれらを探求しようとする。</p>	
10		物質変化の特徴、化学変化の表し方について、エネルギーと関連付けて理解させる。	思考・判断	<p>観察、実験の結果から、物質の変化を構成や構成粒子の結び付きの変化から考察するとともに、変化にはエネルギーの出入りが伴うことを判断する。</p>	
		酸と塩基の性質、			

		中和反応，塩の生成について理解させる。	技能・表現	三態変化などの状態変化，燃烧，酸化・還元，中和などの化学反応，その際のエネルギーの出入りについて，観察・実験の技能を習得する。 観察，実験の過程や得られた結果，およびそこから導き出した考えを報告書にまとめたり，発表したりする。	
		酸化と還元の基礎，酸化と生じるエネルギーの関係，酸化剤・還元剤について理解させる。	知識・理解	三態変化，燃烧，酸化・還元，中和などの事例で，物質を構成する粒子の結び付きの変化によって物質の性質が変わり，その際にエネルギーの出入りが伴う探ことを理解し，知識を身に付けている。	
11 ~ 12	物質の利用	<p>鉱物から金属を得る方法，金属の性質，セラミックスの製造・用途について理解させる。</p> <p>合成樹脂の性質・用途，合成方法の基礎を理解させる。</p> <p>生物がつくる有用な物質，生物体内で起こる化学変化のしくみについて理解させる。</p> <p>物質の変化，化学反応などについて観察・実験を通して探究させ，実験技能の習得や理解を図る。</p>	<p>関心・意欲態度</p> <p>思考・判断</p> <p>技能・表現</p> <p>知識・理解</p>	<p>人間生活との関わりの深い物質の特性と利用および物質の製造にエネルギーが必要であることに関心をもち，意欲的にそれらを探求しようとする。 生物がつくる物質や生体内の反応に関心をもち，意欲的にそれらを探求しようとする。</p> <p>金属，セラミックス，プラスチックなどの事例を選び，原料と製品の特性との関係について総合的に判断する。 生物がつくる物質と合成物質，生物体内の化学反応と実験室での化学反応について，共通点と相違点を見出す。 人間生活で使われる物質が自然界で受ける変化や，元素の循環および，自然界の生物の働きに与える影響について考察する。</p> <p>金属，セラミックス，プラスチックなどの事例を選び，特性や製造に関する観察，実験の技能を習得する。 微生物や酵素などを用いた物質の製造に関する観察・実験の技能を習得する。 観察，実験の過程や得られた結果，およびそこから導き出した考えを報告書にまとめたり，発表したりする。</p> <p>金属，セラミックス，プラスチックなどの事例を選び，原料と製品の特性との関係を知るとともに，物質の製造と利用は人間生活を豊かにする反面，自然環境に少なからぬ影響をおよぼしていることを理解し，知識を身に付けている。</p>	
1 ~ 2	資源の開発と利用	<p>化石燃料の利用，環境に及ぼす影響，原子力エネルギーの基礎について理解させる。</p> <p>金属，非金属資源の特性や有限性について理解させる。</p>	<p>関心・意欲態度</p> <p>思考・判断</p>	<p>蓄積型の化石燃料と原子力，非蓄積型の太陽エネルギーと水力に関心をもち，その特性や有限性，およびその利用などについて意欲的に探求しようとする。 金属資源や非金属資源に関心をもち，それらの特性や有限性および資源探査の方法や開発，再利用などについて意欲的に探求しようとする。</p> <p>蓄積型のエネルギーと非蓄積型のエネルギーの特性や有限性について考察するとともに，その利用などについて科学的，総合的に判断する。 金属資源や非金属資源の特性や有限性</p>	

		<p>金属，非金属資源の探査の方法や開発，再利用について理解させる。</p> <p>力学的エネルギーの保存，仕事と熱などについて観察・実験を通して探究させ，実験技能の習得や理解を図る。</p>		<p>について考察するとともに，資源探査の方法や開発，再利用などについて科学的，総合的に判断する。</p>	
			技能・表現	<p>各種の資源に関する観察，実験の技能を習得するとともに，その過程や結果を報告書にまとめたり，発表したりする。</p>	
			知識・理解	<p>化石燃料が有限であることや，核エネルギーについて理解し，知識を身に付けている。</p> <p>鉱物資源の種類や利用および分布を理解し，資源の探査と開発や有効利用に関する知識を身に付けている。</p>	
3	温暖化のメカニズムを知る	<p>太陽エネルギーは仕事に変えられること，その利用方法について理解させる。</p>	関心・意欲態度	<p>太陽エネルギーが仕事に変えられたり，生物のエネルギー源になったりすることに関心をもち，その変換や総量の保存について意欲的に探求しようとする。</p>	
			思考・判断	<p>太陽エネルギーが仕事に変えられたり，生物のエネルギー源になったりすることについて考察するとともに，エネルギーの変換や総量の保存を化学的，総合的に判断する。</p>	
			技能・表現	<p>各種の資源に関する観察，実験の技能を習得するとともに，その過程や結果を報告書にまとめたり，発表したりする。</p>	
			知識・理解	<p>太陽エネルギーが仕事に変えられたり，生物のエネルギー源になるなどの知識が身に付いており，一見多様な現象が，エネルギー保存の立場から統一的にとらえられることを理解し，知識を身に付けている。</p> <p>太陽エネルギーや水力などの発電について理解し，多様なエネルギー資源の利用と特性に関する知識を身に付けている。</p>	

体育（2年）

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
2単位	2年全学科	カラーワイドスポーツ（大修館）	体育担当教員

教科・科目の目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを味わうことができようとして自ら進んで運動をしようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心や興味をもち、学習に取り組もうとする。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を身に付けている。
評価方法	授業中の活動状況 出席状況 学習態度 班ノート記入内容 自己評価表	授業中の活動状況 班ノート記入内容	授業中の活動状況 班ノート記入内容 スキルテスト	授業中の発問に対する応答 班ノート記入内容 授業中の活動状況

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	安全に自主的・合理的に運動ができる知識と技能を身につけさせる 生涯にわたって計画的に運動ができるための、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけさせる。 スポーツにおけるルール的重要性を理解させ、ルールを決めるところから学ぶ意欲を持たせる。 グループ学習を取り入れ、自ら考える機会を多くする。 個人内評価が適切にできるよう、授業外での自主的な学習活動等も評価に含める。
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準	評価観点	
4	体づくり運動	<p>自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題を持って次の運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、これらの運動を生活の中で実践できるようにする。</p> <p>体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、お互いに協力して運動ができるようにする。</p> <p>自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるよ</p>	関心・意欲・態度	自分の体や心の状態に気付き、体の体調を考えながら、体づくり運動を楽しく行おうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。	
			思考・判断	自分の体力や体調に適した運動を選んでいる。 運動の内容や方法を見直したりして、新しい運動を選んだりしている。	
			技能・表現	自分の体力や体調に応じた運動を身に付け合理的に体力を身につけることができる。 新しい運動をすることができる。	
			知識・理解	体づくり運動の特性を理解した中で、運動の種類と体力の向上する運動の行い方を説明できる	

		うにする。		
5 ・ 6 ・ 7	選択 柔道 剣道・ ダンス	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようになる。	関心・意欲 ・態度	自分の能力に応じた技を習得し、相手との攻防を展開して競い合う武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		伝統的な行動の仕方に留意して、お互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようになる。とともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようになる。また、禁止技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようになる。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、技の組み合わせや返し技を身に付けられるように課題を設定している。 試合などから新しい課題を見つけ出し、練習方法を考えたり、選んだりしている。
		自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。	技能・表現	自分の能力に応じた技や対人技能を習得し、試合や練習をすることができる。 試合で、相手の動きや技に応じて、技をかける・防ぐ・返すなどができる。
		自己の能力に応じた課題を持って行い、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして交流し、発表することができるようにする。	知識・理解	武道の伝統的な考えや特性を理解した中で、各種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。 各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。
		お互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにする。	関心・意欲 ・態度	ダンスの演技のできばえを求め、リズムに乗って動く、仲間とかかわりをもって動くダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようになる。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、イメージが表現できるように課題を設定している。 課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。
			技能・表現	自分の技能に応じた技を身に付けスムーズ・リズムカルに表現することができる。 新しい技をリズムカルに表現することができる。
			知識・理解	ダンスの特性を理解した中で、技の種類、技の組み合わせの構成やイメージした表現を考えられる 発表の仕方や共感、感動する鑑賞の仕方を説明できる。
8 ・ 9 ・ 10	選択 球技	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	思考・判断	技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームがで	技能・表現	自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。 練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。

		<p>きるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p> <p>チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。</p>	
11・12	選択 陸上競技	<p>自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができるようにする。</p> <p>お互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</p> <p>自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>競技の向上を求めて、全力で取り組み、陸上運動の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるの中で目標や課題を設定している。</p> <p>課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるをすることができる。</p> <p>走る・跳ぶ・投げる中で、基本的な動きを身に付け、競技したり記録を高めたりすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>陸上運動の特性を理解した中で、種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。</p>	
1・2・3	選択 (球技)	<p>チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</p> <p>チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。</p> <p>練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。</p> <p>新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、</p>	

する。

チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようになる。また、競技会の企画や運営ができるようになる。

種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。

各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。

保 健

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
1単位	2年全学科	現代保健体育（大修館）	保健担当教員

教科・科目の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価規準	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。		個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。
評価方法	授業中の発問に対する応答 出席状況 学習態度 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 自己評価表	授業中の発問に対する応答 授業中の演習問題に対する解析の仕方 ノート 定期的なプリント 小テスト 定期試験		授業中の発問に対する応答 授業中の演習問題に対する解析の仕方 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 定期試験

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、正しい知識を身につけさせる。 個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断できるようにさせる。 生涯にわたり健康安全について感心を持ち、生活の中で実践できる知識を身につけさせる。 グループ学習を取り入れたり、発問を多くするなど自ら考える機会を多くする
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準		評価観点
4	思春期と健康	思春期の体の特徴とともに、行動面・心理面の特徴を理解する。	関心・意欲・態度	思春期・結婚生活・性意識・妊娠などの健康問題や生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理について、適切な意思決定と行動選択の重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	性意識と性行動選択	性意識や性行動の男女差について理解する。	思考・判断	思春期・結婚生活・性意識・妊娠などの健康問題や生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理について、適切な意思決定と行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	結婚生活と健康	健康な結婚生活を営むための留意点や重要性を理解する。	技能・表現		
	妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程を学び、胎児や母体に関わる健康を理解する。	知識・理解	思春期・結婚生活・性意識・妊娠などの健康問題や生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理について、適切な意思決定と行動選択の重要性について説明ができたり、学習ノ	
	家族計画と人	家族計画の意義を			

	工妊娠中絶	学び、避妊法や人工妊娠中絶における条件・心身に及ぼす影響を説明できる。		ートに書き出している。	
5・6	加齢と健康	加齢による心身の変化、また中高年期においてのよりよい健康を理解する。	関心・意欲 ・態度	我が国の保健・医療制度や医療機関と地域の保健所・保健センター・医療機関の活用についての重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	高齢者のための社会的取り組み	高齢者の健康課題や高齢社会における総合的対策を理解する。	思考・判断	我が国の保健・医療制度や医療機関と地域の保健所・保健センター・医療機関の活用について、必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	保健制度と保健サービスの活用	保健行政の役割やしきみ、保健サービスの内容や活用法を理解する。	技能・表現		
	医療制度と医療費	医療保険のしきみを理解し、医療費の内容を説明できる。	知識・理解	我が国の保健・医療制度や医療機関と地域の保健所・保健センター・医療機関の活用についての重要性について説明ができたり、学習ノートに書き出している。	
	医療機関と医療サービスの活用	医療機関の選び方、重要性を学び、適切な医療サービスを受ける方法を理解する。			
7～9	大気汚染と健康	大気汚染の実際を学び、その健康影響・原因物質を説明できる。	関心・意欲 ・態度	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、そのための対策がとられていることの重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	水質汚濁と健康	水質汚濁の実際を学び、その健康影響・原因物質を説明できる。	思考・判断	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、そのための対策がとられていることについて、適切な意思決定と行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	土壌汚染と健康	土壌汚染の実際を学び、その健康影響・原因物質を説明できる。	技能・表現		
			知識・理解	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、そのための対策がとられていることの重要性について説明ができたり、学習ノートに書き出している。	
10～12	健康被害の防止と環境対策	環境汚染の防止・改善・対策を理解する。	関心・意欲 ・態度	環境を健康に適したものにするため基準が設定され、環境衛生活動が行われていること、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることの重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	環境衛生活動のしきみと働き	ごみ処理の過程・上下水道の整備とし尿の処理について理解し、問題点と対策を説明できる。	思考・判断	環境を健康に適したものにするため基準が設定され、環境衛生活動が行われていること、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活	

	食品衛生活動のしくみと働き	食品衛生管理のしくみを理解し、安全性について説明できる。		動が行われていることについて、適切な意思決定と行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	食品と環境の保健と私たち	食品の安全性・ごみによる環境汚染を自身ができる対策を説明できる。	技能・表現		
			知識・理解	環境を健康に適したものにするため基準が設定され、環境衛生活動が行われていること、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることの重要性について説明ができたり、学習ノートに書き出している。	
1 ~ 3	働くことと健康	労働と健康の相互影響について理解する。	関心・意欲・態度	職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことの重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	労働災害・職業病と健康	労働災害・職業病の防止対策を理解し、健康管理の必要性を説明できる。	思考・判断	職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことについて、適切な意思決定と行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	健康的な職業生活	職場の健康増進対策・日常生活の健康増進について理解する。	技能・表現		
			知識・理解	職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことの重要性について説明ができたり、学習ノートに書き出している。	

オーラルコミュニケーション 評価基準

山梨県立谷村工業高等学校
英語担当教員

対象学年 2年生

使用教科書 On Air Communication (KAITAKUSHA)

1. 科目目標

日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2. 評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり発表したりして表現する。	身近な話題について、英語を聞いたりして、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを整理して理解する。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけると共に、その背景にある文化などを理解している。

3. 年間学習計画

	単元	学習内容
1	Lesson 8 On the Telephone	電話で友達を誘う 電話での受け答えの表現
	Lesson 9 Who Is It ?	人物の特徴を説明する 身長や髪型、服装などの形や色を表す表現
2	Lesson 10 What's the Weather Like ?	各地の天候を表現する 天候を表すいろいろな表現
	Lesson 11 School Events	学校行事の感想を話し合う 学校行事の種類・印象を表す表現

3	Lesson 12 Guess What It Is	物の形や色を説明する 物の形のいろいろな表現
	Lesson 13 What's Special about Today?	日本の祝日や行事を説明する 祝日や行事の内容説明の表現
	Lesson 14 How Do You Do It ?	物の使い方を説明する 物の使い方や料理の作り方を説明する

4 小单元ごとの評価規準

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学期	「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。 積極的に英語を使って話している。	発音に留意し、積極的に英語を音読している。 英語で自己表現をしている。 電話での言い方を理解でき、英語で説明できる。 人物の特徴を英語で表現することができる。	電話での表現方法を理解し、自分を表現するだけでなく相手の伝えようとするを正確に理解できる。 人物の外見上の特徴を理解し、自分を表現するだけでなく、相手の言うことも理解できる。	電話特有の表現を知り、それを使うことができる。 背の高さ、髪型、服装など、人物の外見上の特徴を表す語彙を知り、実際に使うことができる。
2 学期	「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。 ペア・ワークにおいて英語で積極的に話している。	過去・現在・未来の天気について英語で説明することができる。 学校行事の種類・印象を英語で適切に表現することができる。 物の形や色をしっかりと説明することができる。	天気を表す英語を理解している。 学校行事に関する英語表現を理解し、自己表現だけでなく相手の伝えようとするを正確に理解できる。 物の形や色を説明する表現を理解	天気を表す英単語を適切に使い分けられる。 学校行事に関する疑問文を正しく作ることができる。また、その疑問に対し正しい英文で受け答えることができる。

			でき、自分だけでなく相手の伝えようとしていることを正確に理解でき、的確に受け答えが出来る。	物の形や色についての語彙を知り、実際にそれを使うことができる。
3 学 期	<p>「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。</p> <p>ペア・ワークにおいて英語で積極的に話している。</p> <p>「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。</p>	<p>日本の祝日や行事を英語で説明することができる。</p> <p>物の使い方や料理の作り方などを手順を踏んで説明することができる。</p>	<p>日本の祝日や行事に関する英語を理解することができる。</p> <p>物の使い方や料理の作り方についての英文を理解することができる。</p> <p>自分の伝えたいだけでなく、相手の表現したいことを正確に理解できる。</p>	<p>日本の祝日や行事に関する単語を知っていて、実際にそれを使うことができる。</p> <p>物の使い方や料理の作り方についての表現方法を知っている。</p>

5 小單元ごとの評価方法

単 元	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1 学 期	出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数 デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション
2 学 期	出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数 デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション

	ヨン			
3 学 期	出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数 デモンストレーシ ョン	学習態度 授業プリント デモンストレーシ ョン	学習態度 授業プリント デモンストレーシ ョン	学習態度 授業プリント デモンストレーシ ョン

英語 評価規準

山梨県立谷村工業高等学校
英語担当教員

対象学年 2年生

使用教科書 ALL ABOARD! ENGLISH (TOKYO SHOSEKI)

1. 科目目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2. 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 年間学習計画

学期	単元	学習内容
1学期 中間 まで	Lesson 4 The Genbaku Dome, a World Heritage Site	・単語・本文の音読・黙読、本文の内容の理解 ・"No more...!"の言い方 ・助動詞 can, must, will の使い方 助動詞を用いた否定文、疑問文の作り方
1学期 期末 まで	Lesson 5 Just Be Yourself	・単語・本文の音読・黙読、本文の内容の理解 ・"Why don't you...?"の言い方 ・不定詞の名詞用法、副詞用法

2学期 中間 まで	Lesson 6 Tetsuwan Atom, A Super Robot	<ul style="list-style-type: none"> ・単語・本文の音読・黙読、本文の内容の理解 ・"What kind of...?"の言い方 ・現在完了の使い方 経験、継続、完了の見分け方
2学期 期末 まで	Lesson 7 Manekineko	<ul style="list-style-type: none"> ・単語・本文の音読・黙読、本文の内容の理解 ・話題となる語句に強勢を置く言い方 ・動名詞の使い方 主語として、前置詞＋動名詞として
3学期 期末 まで	Lesson 8 Coins of the World	<ul style="list-style-type: none"> ・単語・本文の音読・黙読、本文の内容の理解 ・例を挙げる時の言い方 ・関係代名詞の使い方 who, which の使い方

4 小単元ごとの評価規準

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1学期 中間 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。 ・内容の理解を深めるため英語を使い他と積極的に使って話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に留意し、正しい発音、強勢、イントネーションで音読ができる。 ・原爆ドームと平和の関係について考えを英語で述べるができる。 ・ターゲット文を暗唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームが世界遺産になった経過を読み取ることができる。 ・日本にある他の世界遺産をあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, must, will の使い分け、英訳ができる。 ・can, must, will を用いて疑問文や否定文を作ることができる。
1学期 期末 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。 ・内容に関する話し合いにおいて英語で積極的に取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に留意し、正しい発音、強勢、イントネーションで音読ができる。 ・相手を元気付けたり、勇気付けたりする表現を英語で表すことができ 	<ul style="list-style-type: none"> ・相田みつをの作品と説明の英文を読み正しく理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた英文を理解し、英訳できる。 ・不定詞の用法を見分けることができる。 ・相手を元気づけたり、勇気づけた

	組んでいる。	る。 ・ターゲット文を暗唱できる。		りする表現を挙げることができる。
2 学 期 中 間 ま で	・「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。	・自分の欲しいロボットの絵を描き、英語で説明ができる。 ・実在のロボットの種類を英語で挙げることができる。 ・実在のロボットの特徴を英語で説明することができる。 ・ターゲット文を暗唱できる。	・鉄腕アトムとこんにち実在するロボットの違いを英文から読み取ることができる。 ・こんにち実在するロボットにはどのような種類があるのか理解できる。	・現在完了を用いた英文を理解し、正しく英訳ができる。 ・現在完了の3つの用法の識別ができる。
2 学 期 期 末 ま で	・「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。 ・日常生活のなかで伝統的なものの働きや背景に関心を持つ。	・自分の大切なものやその写真をクラスで見せながら、それについて英語で説明できる。 ・幸せを祈るものをさがしだして、それがどのようなことをどのような時に用いるのか英語で説明ができる。 ・ターゲット文を暗唱できる。	・招き猫が送られる理由と招き猫にはどんな願いが込められているのか読み取ることができる。 ・招き猫についておばあさんから聞いた話を理解できる。	・動名詞を用いた英文を理解し、英訳することができる。 ・動名詞の用法を文中で正しく識別できる。 ・動詞の原形から動名詞を作ることができる。
3 学 期 期 末 ま で	・「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。 ・世界のコインと日本のコインの違いと共通点に対す	・1000円硬貨を自分で作るとしてデザインして図柄を考え、自分の考えや意図を英語で説明できる。 ・あることについて例を挙げる言い	・コインについてどのような国にどのようなデザインのコインがあるのか読み取ることができる。 ・それぞれのコインのデザインの背	・関係代名詞を用いた英文を理解し、英訳することができる。 ・関係代名詞の用法を識別することができる。

る強い関心をもつ。	方を英語で行うことができる。 ・ターゲット文を暗唱できる。	景について理解できる。
-----------	----------------------------------	-------------

5 小单元ごとの評価方法

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学 期 中 間 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・ノートへの記録 ・単語の意味の調べを含む予習の実行 ・宿題の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の流れを正しく理解できる。 ・問題を正しく理解し答えることができる。 ・本文の内容の要点を的確に把握できる。 ・中心の文法項目を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を正しいアクセントや発音で、会話文を正確なイントネーションで読むことができる。 ・内容について概要を英語で正確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の正しい読み方や基本事項の運用についての知識を身につけている。 ・原爆ドームが世界遺産となった経過や背景を理解している。
1 学 期 期 末 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・ノートへの記録 ・単語の意味の調べを含む予習の実行 ・平常の宿題の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して正しい応答が口頭や筆記でできる。 ・問題を正しく理解し答えることができる。 ・本文の内容の要点を的確に把握できる。 ・中心の文法項目を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を正しいアクセントや発音で、文を正確なイントネーションで読むことができる。 ・相手を元気づけたり、勇気づけたりする短い文を自分で作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の正しい読み方や基本事項の運用についての知識を身につけている。
2 学 期 中 間 ま	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・ノートへの記録 ・単語の意味の調べを含む予習の実行 ・夏休みの宿題の 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して正しい応答が口頭や筆記でできる。 ・問題を正しく理解し答えることができる。 ・本文の内容の要 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を正しいアクセントや発音で、文を正確なイントネーションで読むことができる。 ・ロボットの種類を英語で紹介でき 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の正しい読み方や基本事項の運用についての知識を身につけている。 ・ロボットの歴史と種類について正

で	<p>提出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常の宿題の提出状況 	<p>点を的確に把握できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心の文法項目を理解する。 	<p>る。</p>	<p>しく理解している。</p>
2 学 期 末 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・ノートへの記録 ・単語の意味の調べを含む予習の実行 ・平常の宿題の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して正しい応答が口頭や筆記でできる ・問題を正しく理解し答えることができる。 ・本文の内容の要点を的確に把握できる。 ・中心の文法項目を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を正しいアクセントや発音で、文を正確なイントネーションで読むことができる。 ・内容について概要を英語で正確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の正しい読み方や基本事項の運用についての知識を身につけている。 ・招き猫の効用と背景について理解している。
3 学 期 末 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・ノートへの記録 ・単語の意味の調べを含む予習の実行 ・冬休みの宿題の提出状況 ・平常の宿題の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して正しい応答が口頭や筆記でできる。 ・問題を正しく理解し答えることができる。 ・本文の内容の要点を的確に把握できる。 ・中心の文法項目を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を正しいアクセントや発音で、文を正確なイントネーションで読むことができる。 ・身近な硬貨の図柄の背景について英語で説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい読み方や基本事項の運用についての知識を身につけている。 ・コインの種類やそのデザインの背景について理解している。